

旭支部長 照沼 隆二 (S59年卒)

旭区は横浜市の西部に位置し、面積は32.78km²あり横浜市では18区中3位の広さがあります。住宅街とともに森や畑など自然にも恵まれ、子どもから高齢者まで安心して過ごせる環境にあります。昔は保土ヶ谷区の中に含まれていましたが、昭和30年代、宅地開発等による人口増加に伴い、昭和44年10月に保土ヶ谷区から分区され旭区が誕生しました。

現在人口は、246,213人。横浜市でも人口の多さは上位にありますが、近年高齢化率も進んでいる状況です。区の様々な施策も高齢者の方や、乳幼児、児童、障害のある方等が生き生きと過ごせるような方向で進められています。

今年は、横浜市で「全国都市緑化よこはまフェア」が3月25日から6月4日の期間で行われます。この一環で、旭区にあるズーラシアの隣に「里山ガーデン」が開催され、市内で最大級の花の景観や、自然を利用したアスレチックなどが予定されており、子どもから高齢者まで楽しめる事業になると期待しているところです。

旭区には小学校が24校、中学校が12校、特別支援学校が1校あり、児童生徒数は、1万7千人を超えています。小中学校とも学校数が多いので、各種研究会をはじめ、校長会等が充実して行われています。小・中、特別支援学校との連携も行われており、教育活動が活発に実施されています。

現在友松会会員は、校内会員166名、校外会員107名という状況です。先日、校外会員の方から「友松」を受け取った旨の丁寧なお礼のお電話を頂戴いたしました。高齢のため、出かけるのは難しい状況ですが「友松」を読むのを楽しみにされているとのことでした。こうした会員の方の声を大切にしなければならないと強く思いました。

会員数は少なくないと思いますが、旭支部総会などは開かれていない状況です。校外会員の皆様や、若手会員の皆様が交流できる場を設定することができるように、他支部の情報も得ながら支部活動の活性化に向けて取り組んでいきたいと思っています。